



群私幼

No.
1
7
4

2016年(平成28年)3月25日発行

(一社)群馬県私立幼稚園・認定こども園協会

発行人 原 徳明

編集人 高月 広喜

群私幼事務局/☎371-0854 前橋市大渡町1-10-7
群馬県公社総合ビル6F 私学センター内



TEL.027-280-6206

FAX.027-280-6208

URL・http://www.gunshiyou.jp/



卒園記念製作 「どんなのができるかな？」

CONTENTS

- ② 教職員冬季研修大会 (1/20)
 - * 研修Ⅰ 講演①
 - * 研修Ⅱ 講演②
- ③ * 研修Ⅲ 実技講座
たより
幼稚園訪問記
* まきば幼稚園
- ④ * 中部地区研究委員会
* 西部地区研究委員会
* 東部地区研究委員会
- ⑤ ほほえみインタビュー
* 清華幼稚園
連載「フロンムぐんまちゃん」
- ⑥ 幼児教育センターの保育相談Q&A
新企画「あそびのタネ」
- ⑦ 本棚
研修たより
* 新採研(後期Ⅱ)(1/21)
* 私学振興大会(1/28)
- ⑧ * 臨総総会並びに第二次設置者
園長研修会(2/24)
お年玉クイズの正解
編集後記

ニューリーダーの会 研修会

2月5日・6日に栃木県真岡市で行われた研修会にニューリーダーの会員5名が参加してきました。今回の研修会は、栃木県幼稚園連合会青年部主催のものに特別に招待していただきました。研修会の内容は2部に分かれ、最初は上越教育大学の西川先生による「学び合い」について、次はつべん塾取締役の大嶋先生による「究極のリーダーセミナー」について講義が行われました。どちらの講義も、ただ情報を受け取るだけのものではなく、参加者同士が意見や情報を出し合っ

(茂木/記)





研修Ⅰ 講演①

「幼児教育の質を保障する」
社会的変容と環境の捉え方

(認) 清心幼稚園 平形侑為子

今回初めて岡上先生のお話を聞か
せて頂きました。

保護者の子育てに対する意識が変化
していることや女性の就労促進などに

よる保育の長期化や、子どもに嫌な思
いをさせたくない子どもへのけんかに
すぐ介入しようとしたり、子どもの能
力を求める親など時代の流れによつて
子どもを取り巻く環境がどんどん複雑
になっていることが分かりました。ま
た、それに合わせて保護者への対応や
保育の工夫が求められていることを改
めて考えさせられました。

私は幼稚園で過ごしている中で子ど
もは遊びの中で本当に様々なことを学
んでいるということを日々感じていま
す。先のけんかもすぐには大人が入つ
たりせず子ども達同士で互いに主張し、
どう折り合いをつけていくか考えるこ
とが生きていく上で大切な基礎になつ
ていると思います。

子ども自身が「こうしてみたらもつ
と面白いかも」と様々な発想から遊び
が変化していく楽しさを感じたり、時
に思いのぶつかり合いで思い通りにい
かない悔しさや悲しさを感じたり、
様々な感情体験を小さな社会でひとつ
ひとつ学んでいるとすれば、私たちは
保護者とともに子どもの内なる可能性
を信じていきたいと改めて思いました。



講演された岡上直子先生

研修Ⅱ 講演②

「こぼがけの保育から五感に
働きかける保育へ」

くくげんこつ山のためきさん
が教えてくれること

高崎健康福祉大学附属幼稚園 中村 舞衣

「保育にはこぼがけが大切?そん
なおかしな話はないでしょう」という
岩倉先生の衝撃的な一言から始まった
講演。きつと日々の保育の中でこぼ
がけの重要性を実感したことのない保
育者はいないでしょう。しかし岩倉先
生がそんな私たちに伝えてくださった
ことは「言葉よりも先に「体験」する
ことが何よりも大切である」というこ
とでした。

歯科医でもある岩倉先生の豊富な
経験をもとに語られる子どもの発達に

関するお話は、保育者としての原点に
戻されるような興味深い内容でした。
生まれたばかりの新生児が母親と「授
乳」という初めての共同作業を「体験
し、心地よさや安心感を得ること。そ
しておむつ替えや抱っこ、入浴や添い
寝など五感の「体験」を通して、子ど
も達は人と人とが関わり合う心地よさ
を学習していくこと。この土台があつ
てこそ、その先で「言葉」ははじめて
意味をもちます。

こぼがけに頼った保育ではなく、
目の前の子ども達をしっかりと見つめ、
目と目、肌と肌で通じ合うことの大切
さを改めて実感した講演となりました。



実践的な対話を交え講演された岩倉政城先生

研修Ⅲ 実技講座

「いどもがまんなかPROJECT」
「コンサート&絵本のつづき」

(認) きざきまち幼稚園 木部いずみ

実技講座は、雪の影響で時間を短縮して行われました。コンサートでは、ピアノストの広中舞さんとバイオリンストの竹原奈津さん、おふたりの息の合ったクラシック音楽の演奏を聴かせて頂きました。演奏曲は、耳にしたことのある名曲ばかりで、その中でも最後の曲「チャルダッシュ」は以前、フィギアスケートの浅田真央さんがフリーで使用した曲だったこともあり、手でリズムを取りながら聴いていました。普段、ゆつくりとクラシック音楽を聴くことがないので、生で伝わってくる音の心地良さに、心身共にリラックスしていくのがわかりました。

また、絵本のつづきは、理事の中村先生による絵本『ちよつとだけ』の読み聞かせでした。いつもは読み聞かせをする立場である私達を読み聞かせをして頂くということは、とても貴重な機会だと感じました。参観日などにこの絵本を読み、今日感じた思いを保護者にも伝えていけたら、と思いました。



コンサートで演奏する広中舞様と竹原奈津様

た
よ
り

平成27年度群馬県私立学校教員等永年勤続者顕彰
榛名愛育幼稚園

園長 喜美侯部謙史先生
(認) いずみ幼稚園
主任 町田 玲子先生
(認) 明和幼稚園
教諭 中島 慶子先生

平成27年度全日本私立幼稚園連合会永年勤続表彰

30年以上 教職員
(認) いずみ幼稚園
20年以上 教職員
安中二葉幼稚園
町田 玲子先生
秋山 茂美先生

おめでとございます。

(認) まきば幼稚園の巻

(板倉町)



園舎の正門前、兵隊さんがみんなをお出迎えしてくれます

3学期が始まってまもない1月初旬、板倉町にあるまきば幼稚園を訪ねました。

幼稚園訪問記

シリーズ



達との保育が展開されていました。先生にも子ども達にも良い刺激となり、職員間では保育の情報共有もできる良い学びの機会となっているとのことでした。また、英語教育を主体とした縦割りクラスが1クラスあり、掲示物や子ども達の所持品も全て英語で表記。2人の先生のうち1名は外国人です。毎日の生活に英語を取り入れることで、正しい発音やリズムを学び得るクラスになっていました。主活動は、英語で生活するものの、子ども同士の遊びや交流は他クラスと一緒に行いながら、無理なく学べる環境を大切にされているとのことでした。

その後、理事長先生とお話しさせて頂き、まきば幼稚園の特色、取り組みを伺いました。まきば幼稚園の大きな特色と魅力でもある米作りと味噌造り。理事長先生自ら指揮を執り作る自家製の米と無添加味噌は、30年以上、自園の給食で提供されており、無添加の味噌については、先生方が3月末に1年分の味噌を作ることが園の伝統となっているそうです。時間をおき、熟成され、大豆の甘みと食感を楽しめる愛情たっぷりの、まきば味噌は、祖父母参観でプレゼントするなど子ども達だけでなく、おじいちゃんおばあちゃんからも大人気と伺いました。米作りに限らず畑では、ジャガイモやサツマイモなどを作り、親子で栽培収穫を行い、四季を通して食育に繋がる取り組みを行っていることが伺えました。

他にも、そば打ち体験やキャンプなど募集をかけ、親子で楽しむ行事を企画し、実施しているそうです。共働きの家庭が増える中、行事やイベントも多い園でありながら、保護者の方がとても協力的であり、地域の方々もとても協力的な様子があるようです。しかし、板倉エリアが減少傾向にあることや、地域の方々も1タウンが減少傾向にあること、板倉エリアとしても少子化は深刻な問題であることも伺いました。

訪問日は寒い日でしたが、園庭や教室から子ども達の元気な声が響いていました。園の理念は、「いきいきのびのびの笑顔で」まさに園の子ども達は、元気で逞しくそして気持ちの良い挨拶で迎えてくれました。

はじめに園内を案内していただきました。本園舎から少し離れた新園舎では、1・2歳児クラスの子ども達が絵本や室内遊具でゆったりと過ごしていました。本園舎には、満3歳児は1クラス、年少から年長児クラスは2クラスずつあり、どのクラスにも子ども達から届いた年賀状が掲示され、節分に向けて制作の準備も始まっている様子でした。訪問した日は、月に1度実施している担任交代日であり、担任とは違う先生と子ども



新園舎、27年度から新しくできたお部屋、1歳2歳児が元気に活動しています

今回の訪問で、理事長先生をはじめ、先生方が、新たな活動や農作物に積極的に挑戦していきたいという情熱が伝わってきました。子ども達の活気と温かい雰囲気、恵まれた環境の中で様々な活動を通して自ら学ぶ心とする意欲や感じる心を大切にされていることが伺えました。



保育の様子、朝の出欠確認、お返事も元気にできました

地区別研究委員会 1年の活動を振り返って

●中部地区研究委員会

(認) 山王幼稚園 関口 智行

中部地区では今年度3回の研究委員研修会を実施しました。対話を重視し、主体的に研修会に参加できるように工夫をしました。

第1回では駒形幼稚園にて関東地区教員研修茨城大会フォーラムの研究発表報告をえのき幼稚園の原麻里子先生にしてくださいました。地域・家庭支援・保護者との関わりを意識するだけで普段の保育のなかで無理なく行うことができることを学びました。

第2回では朝日が丘幼稚園にてカウンセラー・ビジネス質問家 浅香美鈴先生を講師にお招きして「家庭支援・保護者との関わりを支えるカウンセリングマインドを学ぼう!」というテーマで講演いただきました。保護者の話に傾聴する大切さと保育者自身の心を満たすことの大切さを学びました。

第3回では明星幼稚園にて「自由に踊りや体操を考えてみよう!」表現と鑑賞のワークショップ」というテーマで研修を行いました。各グループが短時間で目的や目標について、振り付けについて協同的に課題に取り組み、フィードバックをもらうことでより創造的な振り返りを行うことができました。



グループ別に考えた振り付を発表する様子

●西部地区研究委員会

高崎天使幼稚園 今江 郁子

西部地区では「教師の指導力を高める」というテーマで、3回の研究委員会を開催しました。

1回目は、第二ひかり幼稚園長枝井秀栄先生による実技研修を行い、新聞紙や牛乳パックを使った手作りおもちゃを紹介していただきました。材料を余すところなく使って、より回り飛ばして遊べるようにアドバイスをもらいながら、楽しく製作し、学ぶことが出来ました。

2回目は、前回の研修で学んだことを保育活動にどのように取り入れ、子ども達が遊びに発展していく経過や課題などをワールドカフェ形式で話し合いました。担当学年別にグループを分けて対話し、互いに共感したり質問しながら、保育情報や色々なアイデアを共有することが出来ました。

3回目は、同じねらいで楽器を作ることを前提に、2つのタイプの違う導入を用いた模擬保育を見て、導入についてグループ討議を行いました。より子ども達の関心を高めるアイデアを得ると共に、普段の保育での導入のあり方について反省する点もわかりました。

研究会を通し、すぐに保育に役立つ学びと、自分の保育見直す機会を持つことができました。



模擬保育で導入を見ている様子

●東部地区研究委員会

白ゆり幼稚園 新藤 代里子

東部地区では、今年度3回の研究委員会を開催しました。

第1回は、関東地区教員研修茨城大会研究発表園 えのき子ども園の発表。グループに分かれ、今回のテーマ「地域、家庭支援、保護者とのかわり」について話し合いを行いました。子どもが興味

第3回は、東群馬看護専門学校の講師もされている石川こどもクリニック 石川和夫先生を迎え、子どもの病気をテーマに学びました。幼児特有の病気に對しての対応と予防、感染症、応急処置の現在と昔との違いなど、実践につながるお話を聞かせて頂きました。

今年度も、明日からの保育に活かせる充実した内容の研究であり、教師の質の向上につながったと思います。



3日目の講演会でのひとこま



③自園のPR（プチ自慢）
とても家庭的な園で学年の隔たりなく、全職員が全園児の様子を見ながら日々の保育を行っています。挨拶をすること、話をよく聞ける姿勢など、細かなことでもひとつひとつ大切にしながら過ごしています。また、創立より、スイミング教室を行っており、年中児からスタートします。年中・年長児は年間通してプールに入り、泳ぐ練習をしています。お泊り保育も年中・年長児が参加し、様々な体験を通して家庭ではできない学びにもつなげ

②忘れられないエピソード
小さなことから大きなことまで沢山のエピソードがありますが、お遊戯発表会でステージに立ち、劇を行った時のことです。本番前は緊張で顔がこわばり、ドキドキしている様子がとてもよく伝わってきて、私自身も不安になりましたが、全てを終えてステージから下りた時の「あー、楽しかった!!」と言った時の満足そうな笑顔と、「もう1回やりたい!」と話してくれた子ども達。あのキラキラ輝く笑顔は忘れられません!

①幼稚園の先生になった理由は？
中学校の隣に、自分が卒園した幼稚園がありました。進路を考える時期になり、色々考えている時に、幼稚園で楽しそうに小さい子と遊ぶ先生の姿が目に入りました。日頃から楽しそうな先生の様子を見るうちに、「幼稚園の先生って、かわいい子ども達と毎日一緒に過ごせて楽しそうだな」と思うようになったことがきっかけです。



ほほえみインタビュー (47)

清華幼稚園 教諭 土屋 加奈



⑥今、気に入っておすすめなもの？
大河ドラマ「真田丸」です。地元岩櫃城が登場したことで、一気に親近感を覚えました。まだスタートしたばかりなので、これから毎週観て、いつか歴女になろうと、密かに企んでいます!

⑤教諭として心がけていること
子どもと関わる時には常に元気にといふことを心掛けています。体調を崩し、園を休むことのないよう、自分でできる限りの体調管理は、しっかりと行えるよう気を付けています。また、日頃よりピアノの練習を行ったり、保育雑誌を読んで今よりも少しでも自分自身の保育力が向上できるように努力しようということも心掛けています。基本的なこと、初心を忘れず日々頑張ろうと思っています。

④休日の過ごし方
買い物、友だちとお喋りなど平日にはなかなかできないことを、丸1日予定を立てて行う日もあれば、何も予定を立てずにこたつに入り、ゆつくりのんびり休息をとる日もあり、様々ですがどちらも大切な休日の過ごし方です。



県からのタイムリーな話題

特定教育・保育施設等における事故の報告等について

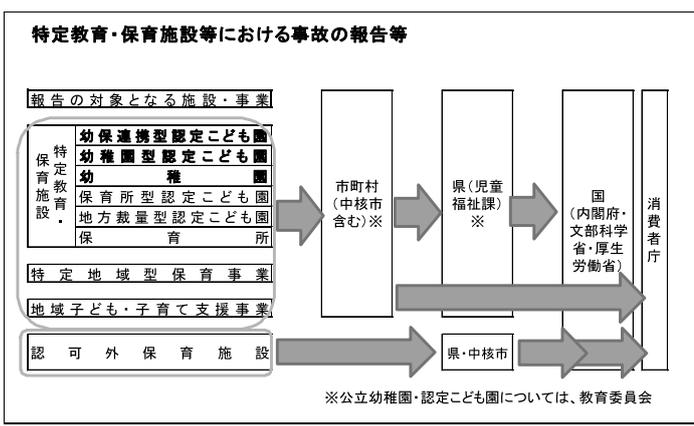
各私立幼稚園、認定こども園においては、日々、園児の安全に十分留意の上、運営されていることと思いますが、万が一、事故が発生した場合の対応について、ここでは主として新制度に移行した園について、お話をさせていただきます。

- 報告の対象となる施設・事業の範囲
- ・特定教育・保育施設（認定こども園、幼稚園、保育所）
 - ・特定地域型保育事業（小規模保育、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業）
 - ・地域子ども・子育て支援事業（一時預かり事業、延長保育事業及び病児保育事業に限る）
 - ・認可外保育施設及び認可外の居宅訪問型保育事業

- 報告の対象となる重大事故の範囲
- ・死亡事故
 - ・治療に要する期間が30日以上を負傷や疾病を伴う重篤な事故等（意識不明（人工呼吸器を付ける、ICUに入る等）の事故を含み、意識不明の事故についてはその後の経過にかかわらず事案が生じた時点で報告を要します。）

- 報告期限
- 国への第1報は原則事故発生当日（遅くとも事故発生翌日）、第2報は原則1か月以内程度とし、状況の変化や必要に応じて追加の報告を行うこととなっています。

- 報告窓口
- 各園↓市町村（公立については教育委員会）
↓県（児童福祉課・公立については教育委員会）



↓国
※市町村については、併せて消費者庁への報告を行います。
※他報告ルートについては、図のとおり

○「特定教育・保育施設等における事故情報データベース」の公表
事故の発生又は再発防止のため、内閣府で公表している上記データベースを活用いただくとともに、消費者庁「子ども安全メールフォーム消費着席」（毎週配信のメール配信サービス）、「事故情報データベース」内の「保育施設等の事故情報リスト」等も参考としてください。

※なお、私学助成を受ける園においては、事故等が発生した場合は従来どおり、速やかに学事法制課へ御連絡ください。



幼児教育センターの 保育相談Q&A

連載 20

群馬県総合教育センター
幼児教育センター長

都丸 千寿子

Q 家庭との連携の重要性を実感しています。そのために保育参観を有効に使用しようと思うのですが、家庭との連携を深める保育参観について教えてください。

A 子ども達をよりよく育てるために家庭との連携は大変重要です。保育参観では、園での幼児の様子や先生方の対応の仕方を知ってもらい、その意図を理解してもらっただけでなく、保育参加をってもらうことで、保護者も幼児への接し方を学ぶことができますし、何より幼児の成長を直に伝えることができます。いくつか参観の持ち方を紹介します。

○保育参加による参観

親子活動もその一つです。年度当初の不慣れな時期には、親子で活動することで幼児は不安な気持ちを持たずに過ごせますし、教師にとっては、親子関係がよく分かる機会になります。保護者にとっては、他の親子の関わりを知ることも新たな学びになると思えます。すっかり園に慣れたら、保護者の

方に1日先生になつてもらうと、保育や園生活への理解を促し、幼児との関わり方を学ぶよい経験になります。ただし、個人情報の問題もありますので、慎重に行いましょう。

○日頃の遊ぶ様子を見てもらう参観

保護者には静かに、幼児同士で遊ぶ様子をよく見てもらいましょう。その際、幼児が何を考え、どのような経験をしているのか、友達とどのような関係をもっているのか等々、幼児の成長発達を捉える目を持ってよう、あらかじめ保護者に参観の視点を示すと良いかと思えます。その際、友達と比較するのではなく、我が子の成長を捉える目が持てるように伝えましょう。幼児が園に慣れていなくなったり、保護者の後を追ってしまったりするような時には、保護者が別室でモニターを通してビデオで中継された姿を参観するのも一方法です。

○1年間の成長や成果を見てもらう参観

いわゆる運動会や発表会がこれに当たります。保護者も教職員も「こんなことができるようになった」と感激しますが、幼児が「やらされている」と思うようなことにはならないようにしましょう。幼児自身が「やりたい」「見せたい」と思えるような環境の構成や援助をするのも、教師の力量です。幼児の主体性を大切にしたい保育の成果を見てもらいたいですね。

新企画

「あそびの夕ネ」

「このあそびがたくさんの園で芽を出し花開くことをねがって」

「的あて遊び」

(ねらえアンパンマンバイキンマン)

(ねらい)

棒を投げる活動を通して手首のスナップを使う経験を重ね、ボールを片手で投げる活動に繋げる。

(準備)

- ① 的 (アンパンマンのパネルなど)
- ② 投げる棒 (新聞紙を四つ折りにして短いほうの長さに丸め周りをガムテープで巻き持つ所に赤テープで印をする)



(あそびの様子)

子ども達と一緒に新聞紙で棒を作る。的は運動会で使ったアンパンマン・バイキンマン・ドキンちゃん・しょくばんまんのパネルを利用する。棒の端(赤いテープ)を持って手首を使って投げる。的から2m・3m・4mの線を描き投げる距離を変えたり、的のどこに当てるかを自分で決めてそこを狙ってあてるようにする。このあそびの良いところは知らず知らずのうちに手首のスナップを利かせて投げる経験ができること。ドッジボールでボールを投げるのに頭の上から両手で投げる子が多く肩から片手で投げられるようにと考えた時、知念嘉史先生(東海大体育学部准教授)から御助言いただきこの遊びを取りいれてみたところ、投げ方も次第に肩先から投げる子が増え、片手で投げられる子もでてきた。

他園の事例では「火事を消そう」という活動を水色にして、「火事を消そう」という活動もある。

(押江/記)

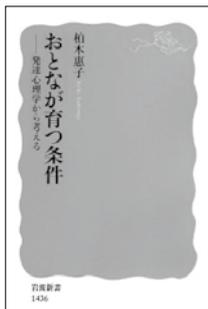
『おとなが育つ条件』

（発達心理学から考える）

私は、書店に入ると必ず立ち寄るコーナーは、『絵本コーナー』と『雑誌コーナー』。久々にじっくり本を読むとしたらどんな本にしようか友人や職場の先生ともそんな話しをしていた中、出会った本が、『おとなが育つ条件』です。表紙の帯には「あなたの成長はこれから。長いながい人生を、快適に生きるために」と記されていました。柏木先生は、東京女子大学の名誉教授。専攻は発達心理学と家族心理学の先生です。

発達とは生きる証・人は生涯発達する

「○○さんから影響を受けた・学んだ・育てられた」など必ずしも経験したことがあり様々な人と交流することでそれまでなかった力や知識を得ることが発達になるものの大人の発達には子どものようにみるみる増えるとは限らず質的に違った特徴が・・・。「消失と衰退」は大人以降の発達の顕著な特徴とこのことです。第一章から第七章まで発



本棚

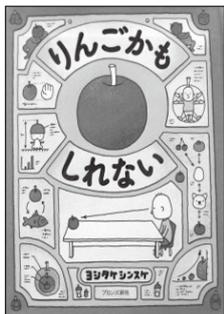
一冊手にとって
みませんか？

達のメカニズムや環境、社会化の仕組み、人の意思や理想、努力を基盤とする発達の自己抑制について書かれている魅力満載の一冊です。（加藤／記）

『りんごかもしれない』

一人の男の子が、りんごに対していろいろな想像を膨らませていく物語です。目の前に見えているものを当たり前に受け入れるのではなく、様々な視点から妄想を膨らませていく男の子の姿に、思わず私自身「様々な可能性から物事を見る大切さ」について考えてしまいました。

この絵本はイラストもたくさん入っていて、私のクラスの子の満3歳児の子ども達でも絵を見て楽しむことができました。「○○かもしれない」というフレーズがたくさん出てくるので、子ども達の自由な発想に合わせて想像を膨らませることが出来る絵本だと思っております。ぜひ一度手に取ってみてください。（久保／記）



研修だより

新規採用教員研修会 後期II

安中二葉幼稚園 青木 玲奈

今回の新規採用研修では「幼稚園と小学校の連携」、「幼児虐待の現状と教師の役割」、「一人一人の幼児の評価と指導要録の記入」などについて学ばせて頂きました。

「幼稚園と小学校との連携」ではいかに小学校との連携が大切かを学ぶことができました。「幼児の虐待の現状と教師の役割」では実際に児童相談所の職員の方から話を聞くことが出来ました。「一人一人の幼児の評価と指導要録の記入」では実際に書き方を教えていただきました。実際に指導要録を使った講義はとて



もためになるものでした。研修の最後は今年度を振り返り、来年度への目標も立てることが出来ました。

長かったようで短かった新規採用研修でしたが、この研修を通して、子どもの将来につなげられるような保育をすることの大切さなどを学ぶことが出来たので、この学びを生かし日々努力していきたいと思えます。

私学振興大会

平成27年度私学振興講演会及び振興大会（意見交換会）が、ホテルラシーネ新前橋で開催されました。講演会講師には村手聡群馬県副知事様を迎え、群馬県私学の現状及び今後の展望についてのお話し後半には今回の講演の中心となる「新たな県総合計画について」のお話しをして頂きました。

群馬県政を推進するための基本指針となる「県総合計画」については、少し難しい内容でしたが、豊富な資料を基に本県が取組む様々な施策は全てこの計画により方向づけられるとのことでした。

そして、群馬県私学振興大会（意見交換会）では、講演頂いた副知事をはじめ県教育次長、学事法制課長及び多数の県議の方々にも参加して頂き群馬県私学振興会をはじめとする各私学団体主催のものと盛大に行うことができました。

（小林／記）

臨時總會並びに
第二次設置者園長研修会



開会式にて挨拶する原徳明群私幼協会会長

平成28年2月24日(水)、群馬県公社
総合ビル1Fホールにて、平成27年度第
二次設置者・園長研修会がおこなわれま
した。

開会式にて、群私幼会長・県学事法制
課長から挨拶をいただきました。

続いて、出席者・委任状を含め104
名の参加により定員数を超え、臨時總會
が開かれました。議題は、平成28年度事
業計画(案)と当初予算(案)についてで、
新規採用研修会の前期Ⅰ・中期Ⅱの日程
や会場など新たに計画された報告がなさ
れました。新制度の流れに合わせ、幼稚

園教諭、保育士が共に学び合える研修と
なるよう、研修内容を維持しつつ資質向
上を目指し、実際に試しながら改善を行
う考えでした。また、適正検査、新規採
用日程についての質問がありました。
賛成多数で、平成28年度事業計画・当
予算は議決されました。

臨時總會後、講師に弁護士・全日幼児

教育研究機構理事、春原 誠様を迎え、
「教職員の雇用のあり方と保護者とのト
ラブルとその対応」についての講演を聞
きました。教員の雇用について、採用、
試用期間、内定、解雇など順を追って法

律で定められた権利について分かりやす
く説明してくださいました。園の就業規
則を改めて見直す良い機会となりました。

また、保護者とのトラブル時に大切にな
るポイントを過去の事例を参考に話して
くださいました。

閉会式後、私学センター会議室にて市
町村委員会も行われました。

(竹前/記)

私学助成等について話された
半田良幸学事法制課長



私学助成等について話された
半田良幸学事法制課長

2016年
お年玉クイズの正解

問題1

解答：19

四字熟語の足し算になっています。

- 一張一弛(いっちょういっし)：2
- 三綱五常(さんこうごじょう)：8
- 八紘一字(はっこういち)：9
- 三思九思(さんしきゅうし)：12
- 十羊九牧(じゅうようきゅうぼく)：19

問題2

解答：A=○、B=□、
C=1500

お金の形を表しています。

- 1円、5円、10円、50円、
100円、500円、1000円

【賞品】

当選された方には、2月24日開催
の第二次設置者園長研修会の折に、
QUOカードを園長先生にお渡しし
ましたので、園の方でお受け取り下
さい。おめでとうございます。

広報編集協力委員一同



雇用の在り方などについて講演された春原誠先生

おくやみ

平成28年1月11日
学校法人 太南学園 南幼稚園
理事長・園長 大槻千恵子先生
(72歳)
心からご冥福をお祈り申し上げます

編集後記

広報の掲載に関して、新たな企画を取
り入れられないかと思いつながら編集長と
して3年が経過し、今回、編集委員で知
恵を絞りながら、様々な意見がでしたが、
ひとつ試みとして新コーナーを設け
てみました。

「あそびのタネ」と題して、会員園で
も気軽に活用できるような内容のあそび
を紹介し、色々なあそびが各園で展開さ
れ、子ども達の心身の成長に繋がるきつ
かけとなればと思います。

少しでも皆様のお役に立てるような情
報を今後も発信していきますので、ぜひ
ともご覧になって活用いただければ幸ひ
です。

(高月/記)

■次号175号は、平成28年
6月8日(水)に発行予定です。